

スーパーグローバル大学創成支援事業 令和6年度事後評価結果表

大学名	東洋大学
整理番号	B16
構想名	TOYO GLOBAL DIAMONDS グローバルリーダーの集うアジアのハブ大学を目指して

◇スーパーグローバル大学創成支援プログラム委員会における評価（公表用）

（総括評価） A	十分な取組状況で事業目的が達成され、今後も持続的な発展が期待できる。
（コメント） <p>事業期間全体において、学生一人ひとりの可能性を引き出し、世界で活躍できるグローバル人材への成長に向けて、教育システム・インフラに関する戦略的な改革を「国際通用性の高いプログラム」、「普遍的全世代グローバル教育」、「持続可能な教育プラットフォーム」の3つを核に進めたものとなっている。特に、エリートから中核人材に至るまで幅広く育成をすることで、全学のグローバル化構造をピラミッド型からダイヤモンド型へと変革を行ったことは、大規模総合私立大学としての強みを最大限に活かしており、高く評価できる。</p> <p>事業展開の中では、国際関係の新学科設置や学部改組、大学独自の「Toyo Global Leader (TGL) プログラム」の展開を含む教育体制や学習環境の整備が着実に進められ、学生の国際的な資質を高める具体的な施策により、派遣や受入れ、海外協定件数や語学力向上などに一定の成果が表れている。また、UMAPなどの新たな国際的知見を取り入れ、必要に応じて組織改革を行う姿勢や、英語力向上に向けた大胆な施策も実施されており、目標達成に向けた取組みの真摯さが伺えるものとなっている。</p> <p>一方で、「TGL プログラム」自体の取組みは独自性があり優れたものであるが、グローバルリーダー育成にあたって定められた要件を満たしたものに認定されるゴールド、シルバー、ブロンズのいずれのランクにおいても認定者数が目標を下回っていることは残念である。「ToyoNet-ACE」を活用した事前・事後学習や双方向授業の推進、「学修支援室」や「学習相談ブース」における個別指導、TGL プログラムでのEポートフォリオの導入など、学生の成長を支援する仕組みは各種整備されているため、これらを最大限に活用することで、さらなる成果が創出されることを期待する。</p> <p>最後に、スーパーグローバル大学創成支援事業による補助期間は終了したが、引き続き徹底した「大学改革」と「国際化」を断行し世界的に魅力的なトップレベルの教育研究を行い、我が国社会の国際化の牽引に寄与されることに期待する。</p>	